

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名 佐賀市立諸富北小学校

1 前年度 評価結果の概要
・学力向上については「授業づくり」について研究を進めることができ、児童の学習意欲や学力向上へとつながった。しかし、低位の児童への支援の方法や振り返りの視点がはつきりしていない等の課題が見られた。また、家庭学習への取組について、その重要性を学力向上よりや学級通信で知らせていく必要がある。

2 学校教育目標
夢をもち ふるさとを大切に思う児童の育成
やさしく かしく たくましく

3 本年度の重点目標
①「学力向上」 校内研究の充実と授業改善 基礎基本の定着と家庭学習の充実 学習用端末の効果的な利用を目指した授業づくり 読書習慣の定着
②「豊かな心の育成」 一人一人を認める出番づくり 支えあう学級づくり いじめ、差別の防止
③「特別支援教育」 一人一人の特性を理解した支援 将来の自立と社会参加
④「地域連携」 諸富中学校区学校運営協議会の活性化 地域の教育力と学習材の活用 地域を中心とした学校との共催事業への取組
⑤「業務の効率化」 業務改善の意識の向上 健康管理とワークライフバランス

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
評価項目 重点取組 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 最終評価(実施結果) 学校関係者評価(評価 意見や提言)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 達成度(評価) 最終評価(実施結果) 学校関係者評価(評価 意見や提言)

5 総合評価・次年度への展望
・学力向上については国語科の「授業づくり」について研究を進めることができ、児童の主体的な学びへとつなげることができた。来年度は教師自身が主体性をもって自らの課題を見出し、解決に向けた手立てを考えていくことで、児童のよりよい学びに結び付けていきたい。